

ネットワークで進める CKD 対策



CKD 病診連携紹介基準が 変更になりました！

第 23 号

発行日 2018 年 11 月吉日

今号の主なニュース

- CKD 病診連携紹介基準について
- 本市における人工透析の現状
- 熊本市 CKD 対策推進会議
- 病診連携説明会
- 病診連携数
- 国保年金課の受診勧奨
- 区役所の健康相談等
- 平成 30 年度の予定

本市では、平成 21 年度にスタートした CKD 対策の重要な取組として、腎臓専門医の先生方をはじめ、熊本市医師会の先生方の御協力のもと、熊本市版「CKD 対策病診連携紹介基準」を作成し、CKD 病診連携システムを構築・運用してまいりました。

今回、2018 年 6 月発刊された「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018」及び腎臓専門医の先生方により構成している「熊本市 CKD 病診連携プロジェクト会議」による協議の結果、別紙のとおり紹介基準を変更することとなりました。

熊本市CKD対策「病診連携」紹介基準

《参考》

※①～⑤のいずれかに該当するもの

eGFR値 (ml/min/1.73m ²) による紹介基準	
① eGFR 45 未満	(40歳未満では60未満) ※糖尿病がある場合は、60 未満 (70歳以上では、50 未満)
② 3ヶ月以内に、30%以上の eGFR の低下	
蛋白尿による紹介基準	
③ 検尿の場合、尿蛋白 1+以上	
④ 尿生化学検査の場合、尿蛋白/尿クレアチニン比 0.5 g/g・creat以上(随時尿) (一日蓄尿は、蛋白尿 0.5g/日以上)	
⑤ 糖尿病がある場合又は血尿がある場合、程度は問わず蛋白尿を呈する者全て (血尿のみの場合、泌尿器科紹介または経過観察とし、経過観察にて症状や蛋白尿が出たら紹介)	

※糖尿病がある場合には、眼科受診の有無の確認及び毎回の尿検査（微量アルブミン定量は3ヶ月に1度）をお願いします。

変更点 4 点、下記のとおりです。

- (1) ①「eGFR 45 未満」に変更、及び「40 歳未満では 60 未満」を追加
- (2) ②「3ヶ月以内に、30%以上の eGFR 低下」に変更
- (3) ③「検尿の場合、尿蛋白 1+以上」に変更
- (4) 枠下「※糖尿病がある場合には、眼科受診の有無の確認及び毎回の尿検査
(微量アルブミン定量は 3 ヶ月に 1 度) をお願いします」を追加

【変更点のポイント】

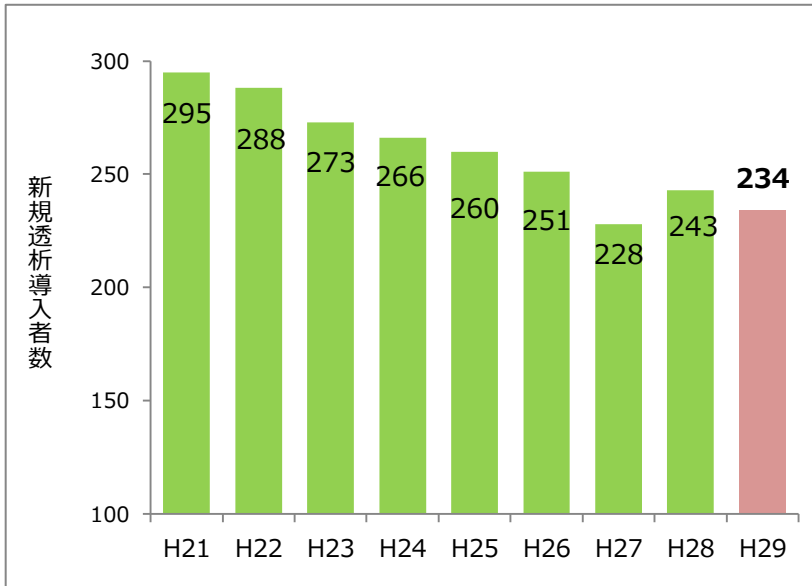
CKD 病診連携による恩恵を、より多くの市民の方々に享受いただくことを目的とした改訂となっています。

- ✓ 若年者は、少しの腎機能低下でも早期紹介（上記変更点①）
- ✓ 急速な eGFR 低下をしっかりと発見、適切なタイミングで紹介（上記変更点②）
- ✓ 糖尿病患者さんを重点ケア（枠外追記事項）

※寄稿：熊本大学医学部附属病院 腎臓内科 腎臓専門医 栗原講師 <熊本市 CKD 病診連携プロジェクト会議委員>

今後とも患者様が受診されました際には、御高診いただきますよう、よろしく願いいたします。

本市における人工透析の現状



平成 21 年 7 月からスタートしました C K D 対策事業は、今年度で 9 年が経過し、平成 29 年度新規人工透析者数は **234 人** に減少しました。また、透析導入の平均年齢も平成 21 年度の 66.74 歳から **71.15 歳** となりました。

この背景には、C K D 病診連携医と腎臓専門医との病診連携がスムーズに行われていること、C K D 推進会議メンバーそれぞれの取り組みや団体同士の協働の取り組みが活発になされたことがあると考えられます。

熊本市 C K D 対策推進会議を開催しました

平成 30 年 7 月 27 日（金）19 時～21 時に ウェルパークまもと大会議室にて開催。熊本市長、熊本市医師会長をはじめとした推進会議メンバー（関係団体 60 機関・104 人）にご参加いただきました。会議は C K D 対策を推進するために、幅広い関係機関が相互に連携を図り、事業を展開することを目的としています。

今年度は、熊本市地域包括センター協議会 会長（青磁野リハビリテーション病院 理事長）金澤知徳 先生から CKD 対策の取組をご報告いただきました。意見交換会においても様々な意見交換ができ、また提出いただきました平成 30 年度アクションプランも参加者同士の情報共有資料として活用いたしました。参加者から「金澤先生のポリファーマシーの話に関しては、患者本人の意識が大変重要だと思った」「色々な分野の色々な意見が聴けて大変ためになった」等と感想が寄せられました。今後も皆様と連携し、C K D 対策を進めてまいりたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。



【取組報告の様子】



【意見交換会の様子】

熊本市 CKD 病診連携説明会を開催しました

CKD病診連携システムの円滑な運用を図るため、平成30年9月4日(火)、6日(木)の2日間、熊本市と熊本市医師会の共催で市医師会講堂において開催しました。説明会には202人のかかりつけ医の先生方にご参加いただき、新たに16人の先生方にCKD病診連携医にご登録いただきました。

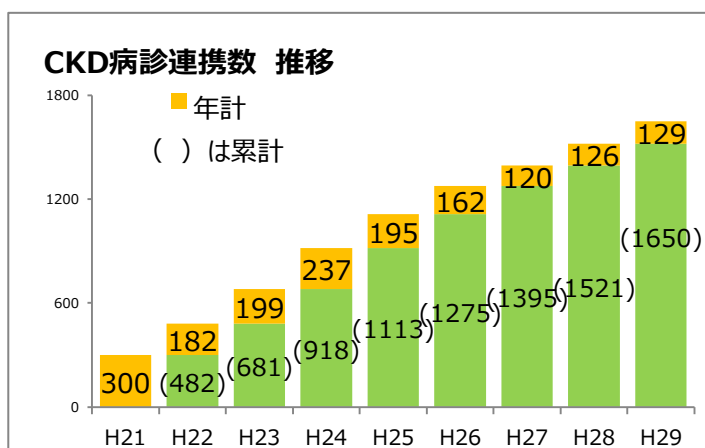


今年度の説明会は、熊本市立熊本市市民病院 腎臓内科部長 宮中先生からCKD対策病診連携紹介基準変更点もふまえ、「CKD診療の最新情報」について、原口循環器内科医院 副院長 松尾先生から「病診連携の実際」を、また「かかりつけ医と管理栄養士の栄養連携システム」について、熊本市医師会理事 緒方先生にご講演いただきました。

参加者から「基本的な知識の再確認と診療のポイントが聞け、役に立った」「腎機能データの詳しい意味や紹介基準等知ることができてよかった」等の感想が寄せられました。

平成29年度 病診連携数

平成29年度のCKD病診連携数は129件(累計1,650件)でした。この件数は、かかりつけ医の先生方からFAXで報告があった件数となっております。病診連携(紹介)をされた際は、「熊本市CKD病診連携FAX送信票」を市にお送りいただきますようお願いいたします。



紹介基準変更にあわせ、2018年改訂版「熊本市CKD対策紹介状」及び「熊本市CKD病診連携FAX連絡票」を同封しております。資料ご希望の医療機関は、健康づくり推進課へご連絡をお願いいたします。

TEL 096-361-2145 FAX 096-366-1173

熊本市国保年金課からのお願い

熊本市国保年金課では、CKDの発症予防・早期発見・重症化予防のために、市国保特定健診結果で下記の紹介基準に該当する方へ熊本市CKD対策推進連携医名簿を添えて、受診勧奨を行っています。「市からCKDのお手紙をもらった」という患者様が受診されましたらご高診のほど、よろしくお願いいたします。

【熊本市国保特定健康診査結果からかかりつけ医への紹介対象】

CKD 疑い eGFR45未満または尿蛋白1+以上で治療なしの者

糖尿病疑い HbA1c 6.5%以上で治療なしの者

高血圧疑い II度高血圧以上で治療なしの者



区役所では、健康相談、健康手帳の交付を行っています

【健康相談】

市民のみなさんからの健康に関する相談窓口を設けています。健康相談を希望される場合は、住所地の区役所保健子ども課へご連絡ください（要予約；面接相談可能）。

中央区役所保健子ども課	096-328-2419	南区役所保健子ども課	096-357-4138
東区役所保健子ども課	096-367-9134	北区役所保健子ども課	096-272-1128
西区役所保健子ども課	096-329-1147		

【健康手帳の交付】

40歳以上の市民の方に健康手帳を交付します（無料）。

健康手帳は健康診査、各種がん検診、医療機関受診や健康相談等を記録し、健康づくりに活用いただくものです。

交付場所 市健康づくり推進課、各区役所保健子ども課、各総合出張所

※熊本市ホームページからもダウンロードできます！

熊本市 健康手帳  で検索



←こちらのQRコードからダウンロードできます

11月14日は、「世界糖尿病デー」です

11月14日の「世界糖尿病デー」にあわせ、11月1日から16日の間に本市では市役所1階ロビー特設ブースにて啓発実施しております。

【糖尿病・CKD 予防啓発資料】

生活習慣病予防に関する情報を盛り込んだ市民対象の「腎臓を守るサポートブック」等を作成しております。以前もみなさまにお配りいたしましたが資料送付ご希望の場合は下記、健康づくり推進課までご連絡いただければ送付いたします。



今後の主な予定（平成30年11～3月）

- 生活習慣病対策関係者研修会：平成30年12月3日（月）10:00～11:30、市役所駐輪場8階会議室
- 熊本市CKD予防講演会（市民対象）：平成31年3月17日（日）予定

制作：熊本市健康づくり推進課

住所）熊本市中央区大江5丁目1番1号

TEL) 096-361-2145 FAX) 096-366-1173

メールアドレス) kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp

ホームページアドレス) <http://www.city.kumamoto.jp/>

